

SPring-8 タンパク質結晶構造解析ビームライン
クライオ電顕利用希望調査

募集期
2021Aなど 1回目 2回目 3回目

重要：本ファイルの名前は、CryoTEM課題番号.pdf としてください。

いずれかをチェック

課題番号

課題責任者

実験課題名

今回の測定の目的

1. 確認事項

1. クライオ電顕の利用には、研修会を利用して利用開始前講習を受講するか、マシンタイムを使って利用前講習を受講する必要があります。
2. 性状確認のみならず、構造多型解析や立体構造解析を完了するには初心者講習を受講してSerialEMを利用することを推奨します。初心者講習については、研修会を利用する、もしくはマシンタイムを使って受講を申し込んでください。
3. 装置はEM01CTを構造多型解析や立体構造解析など多くのデータを必要とする希望に措置します。性状確認や講習はEM02CTを措置します。

希望シフト数 シフト x 回

クライオ電顕利用は3シフト単位となります。3シフト以上の連続したシフトを希望する場合は、その旨特記事項に書き込んでください。

必要とする施設の装置、器具

2. 以前のマシンタイムで既に同種のグリッドの測定を行っている場合には、その結果の概要と、今回の測定の目的を書いてください。

各ビームラインに関する情報は、[こちら](#)を御覧下さい。

3. ゲル濾過、ネガステ、クライオでの結果があれば別ファイルとして送って下さい
(スケール付きであることが望ましい)。ファイル名の先頭は課題番号として下さい。

結果の説明

4. 特記事項 (来所不可能な日 (ただしご希望に添えない場合があります)、ご希望、ご要望など)